

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月1日

上場会社名 s a n t e c株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6777 URL http://www.santec.com/jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鄭 台鎬
 問合せ先責任者 (役職名) 業務部管理グループ長 (氏名) 水島 大介 TEL 0568-79-3535
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

百万円未満切捨て

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,466	64.8	95	-	151	-	151	-
25年3月期第2四半期	889	△23.2	△207	-	△208	-	△216	-

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 280百万円 (-%) 25年3月期第2四半期 △269百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	12.70	-
25年3月期第2四半期	△18.13	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	8,298	7,370	88.8	616.20
25年3月期	8,054	7,125	88.5	595.76

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 7,370百万円 25年3月期 7,125百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	0.00	-	3.00	3.00
26年3月期	-	0.00	-	-	-
26年3月期(予想)	-	-	-	4.00	4.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,031	25.8	200	635.5	224	13.5	190	69.5	15.89

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期2Q	11,961,100株	25年3月期	11,961,100株
26年3月期2Q	281株	25年3月期	226株
26年3月期2Q	11,960,856株	25年3月期2Q	11,960,874株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の御利用に当たっての注意事項などについては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで。以下、「当第2四半期」。)における世界経済は、米国景気の回復が報じられるなど前向きな話題がある一方で、米国の財政協議が難航するなど不安要素が残りました。また、中国等の新興国の成長鈍化が伝えられ、先行き不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループは、平成26年3月期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)の基本方針として、「高付加価値製品の創出と全社員の成長」を掲げ、独自性の高い新製品を創り出して持続成長の柱に育てることと、人的リソースのレベルアップをはかることを主要テーマとして、事業活動に取り組んでおります。

この結果、当第2四半期の連結売上高は1,466百万円と、前第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで。以下、「前第2四半期」。)と比較して64.8%の増加となりました。前連結会計年度において受注した、医療機器用OCT(=Optical Coherence Tomography。光の性質を利用して、非破壊断面画像を取得する技術。)製品の納品が始まったことに加え、光通信市場において、急速なネットワークトラフィック増加を支えるため、新興国向けの設備投資が増加していることを背景として、中国における光部品生産工程向け光測定の上売が伸びたことが主な要因です。

売上増加に加え、利益率の高い光測定器関連事業製品の割合が高まったことにより、当第2四半期の営業利益は95百万円(前第2四半期は、営業損失207百万円)と、平成21年3月期第2四半期連結累計期間以来、5期ぶりの営業黒字となりました。

為替差益29百万円の発生等に加え、経常利益は151百万円(前第2四半期は、経常損失208百万円)、四半期純利益は151百万円(前第2四半期は、四半期純損失216百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 光部品関連事業

当第2四半期の売上高は524百万円と、前第2四半期(422百万円)より24.3%の増加となりました。中長距離向け光部品製品の新技术への端境期入りによる設備投資抑制ムードや、無線設備への投資偏重傾向は依然として継続しているものの、過度の抑制は緩んだものと観測しております。セグメント損失は92百万円と、前第2四半期のセグメント損失71百万円に比して拡大いたしました。これは、研究開発と製品戦略の融和性を高めるために研究開発部門を事業内に取り込んだことで、セグメントの経費負担が増加したことによるものです。

② 光測定器関連事業

新興国における景気減速の中、通信インフラへの設備投資は継続いたしました。その結果、光部品生産ライン向けの設備投資も回復し、営業体制の強化もあって、中国における光測定器製品の売上が増加いたしました。また、OCT製品についても、前連結会計年度に受注した医療機器向け光源製品の出荷が始まったことから、前第2四半期の5倍に相当する売上高となりました。こうしたことから、当第2四半期の売上高は前第2四半期の333百万円より130.9%増加の770百万円となりました。セグメント利益についても、売上増加を背景に162百万円(前第2四半期は、133百万円のセグメント損失)となっております。

③ システム・ソリューション事業

ソフトウェア販売については、オフィスのPCを社外からシームレスに遠隔操作することで業務効率化を提案する、PC遠隔操作ソリューションの売上が好調となり、当第2四半期の売上高は171百万円と、前第2四半期(134百万円)に比して27.9%の増加となりました。セグメント利益は25百万円(前第2四半期は、2百万円のセグメント損失)となっております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第2四半期末の総資産は、前連結会計年度末(8,054百万円)に比べて243百万円増加し、8,298百万円となりました。これは、投資有価証券の増加などがあったことによるものです。

② 負債

当第2四半期末の負債は、前連結会計年度末(929百万円)に比べて928百万円とほぼ横ばいとなりました。これは、前受金などのその他流動負債が減少した一方で、支払手形及び買掛金、繰延税金負債などのその他固定負債が増加したことによるものです。

③ 純資産

当第2四半期末の純資産は、前連結会計年度末(7,125百万円)に比べて244百万円増加し、7,370百万円となりました。これは、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加及びその他有価証券評価差額金の増加があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通信設備投資の必要性は高まっているものの、主力の中長距離向け光部品製品に関連して、投資抑制の動きがあることから、当社グループを取り巻く環境は厳しい状況が続くと考えております。当社グループは、このような環境のもと、少しでも早く市場の求める新製品を開発し、市場に提供することを目指すと共に、市場の動向を正確に見極め、変化に対して的確な対応を可能とする組織作りを行い、光技術の可能性を更に高め、将来の成長に向けて全力を尽くしてまいります。

通期業績予想ならびに期末配当予想につきましては、平成25年5月10日発表のものから、変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、これによると著しく合理性を欠く結果となる場合には「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項（法定実効税率を使用する方法）に準じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,722,663	1,768,985
受取手形及び売掛金	933,429	778,852
有価証券	5,073	114,388
商品及び製品	164,830	165,357
仕掛品	45,919	63,538
原材料	162,978	188,518
その他	99,318	63,103
流動資産合計	3,134,213	3,142,744
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,796,416	1,757,754
機械装置及び運搬具(純額)	650	2,271
土地	1,621,858	1,621,858
リース資産(純額)	—	2,836
建設仮勘定	—	2,119
その他(純額)	44,760	48,718
有形固定資産合計	3,463,685	3,435,558
無形固定資産	86,727	84,384
投資その他の資産		
投資有価証券	1,342,779	1,604,325
その他	27,448	31,350
投資その他の資産合計	1,370,228	1,635,675
固定資産合計	4,920,641	5,155,618
資産合計	8,054,855	8,298,362

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	240,909	277,657
未払法人税等	24,797	21,581
賞与引当金	15,803	51,904
その他	225,099	100,834
流動負債合計	506,610	451,978
固定負債		
退職給付引当金	310,741	317,259
資産除去債務	11,106	11,234
その他	100,604	147,624
固定負債合計	422,452	476,117
負債合計	929,062	928,095
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,978,566	4,978,566
資本剰余金	1,209,465	1,209,465
利益剰余金	742,720	858,748
自己株式	△80	△94
株主資本合計	6,930,671	7,046,686
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	274,626	388,420
為替換算調整勘定	△79,505	△64,840
その他の包括利益累計額合計	195,120	323,580
純資産合計	7,125,792	7,370,266
負債純資産合計	8,054,855	8,298,362

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	889,961	1,466,483
売上原価	545,105	786,826
売上総利益	344,856	679,657
販売費及び一般管理費	552,245	583,978
営業利益又は営業損失(△)	△207,389	95,678
営業外収益		
受取利息	13,797	26,882
受取配当金	5,703	8,302
為替差益	—	29,053
助成金収入	17,622	—
その他	11,242	15,484
営業外収益合計	48,365	79,723
営業外費用		
支払利息	27	10
為替差損	29,185	—
不動産賃貸費用	7,637	8,846
休止固定資産関係費用	12,088	11,817
その他	222	2,979
営業外費用合計	49,161	23,653
経常利益又は経常損失(△)	△208,184	151,748
特別利益		
固定資産売却益	78	—
投資有価証券売却益	—	9,162
投資有価証券償還益	—	1,527
特別利益合計	78	10,689
特別損失		
固定資産除却損	34	30
投資有価証券評価損	5,200	—
特別損失合計	5,235	30
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△213,341	162,408
法人税等	3,486	10,497
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△216,828	151,911
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△216,828	151,911

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△216,828	151,911
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40,447	113,793
為替換算調整勘定	△12,035	14,665
その他の包括利益合計	△52,482	128,459
四半期包括利益	△269,310	280,370
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△269,310	280,370
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△213,341	162,408
減価償却費	93,836	60,882
退職給付引当金の増減額(△は減少)	19,440	6,517
賞与引当金の増減額(△は減少)	△157	36,038
受取利息及び受取配当金	△19,501	△35,184
支払利息	27	10
為替差損益(△は益)	24,968	△24,042
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△9,162
投資有価証券評価損益(△は益)	5,200	—
投資有価証券償還損益(△は益)	—	△1,527
固定資産除却損	34	30
固定資産売却損益(△は益)	△78	—
売上債権の増減額(△は増加)	345,971	167,452
たな卸資産の増減額(△は増加)	△589	△43,629
仕入債務の増減額(△は減少)	△39,478	22,520
未払消費税等の増減額(△は減少)	△17,418	△17,046
その他	16,131	△79,379
小計	215,045	245,889
利息及び配当金の受取額	22,749	39,968
利息の支払額	△27	△10
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△8,464	△20,544
営業活動によるキャッシュ・フロー	229,302	265,302
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△22,229	△16,158
有形固定資産の売却による収入	80	—
無形固定資産の取得による支出	△13,230	△4,760
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	—	△498,697
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	302,160
その他	—	337
投資活動によるキャッシュ・フロー	△35,379	△217,118
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△35,455	△35,519
自己株式の取得による支出	—	△13
リース債務の返済による支出	△1,384	△130
財務活動によるキャッシュ・フロー	△36,840	△35,663
現金及び現金同等物に係る換算差額	△36,024	44,625
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	121,059	57,146
現金及び現金同等物の期首残高	1,475,987	1,727,737
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,597,046	1,784,883

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	光部品 関連事業	光測定器 関連事業	システム・ ソリューション 事業	合計 (注)
売上高				
外部顧客への売上高	422,135	333,575	134,250	889,961
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	422,135	333,575	134,250	889,961
セグメント損失(△)	△71,183	△133,996	△2,208	△207,389

(注) セグメント損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	光部品 関連事業	光測定器 関連事業	システム・ ソリューション 事業	合計 (注)
売上高				
外部顧客への売上高	524,645	770,108	171,730	1,466,483
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	524,645	770,108	171,730	1,466,483
セグメント利益又は損失(△)	△92,371	162,429	25,620	95,678

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。